

シンポ
ジウム

玉川上水の 自然を守り育てる



～分水網と周辺の緑の保全・活用を含めて～

玉川上水を中心に千川上水、仙川、周辺の緑(雑木林、農地など)による水と緑のネットワークは、貴重な自然環境です。市民による保全と環境教育(柴氏)、生き物の暮らし(成瀬氏)を講師から学び、より豊かな自然環境にするために皆で考えてみませんか？

とき: **6月17日(日)**
午後1時30分～4時
(午後1時開場)

ところ: **武蔵野芸能劇場 小ホール**
(三鷹駅北口 徒歩1分)

◆講師

- ・柴 俊男氏(玉川上水の自然保護を考える会・会長)
- ・成瀬 翼氏(特定非営利活動法人NPObirth事務局、
まると玉川上水かんさつ会・会長)

◆コメンテーター

- ・中里崇亮氏(玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会・会長)

◆交流会(意見交換など)

※最後に玉川上水の自然を守り育てるための宣言を採択します



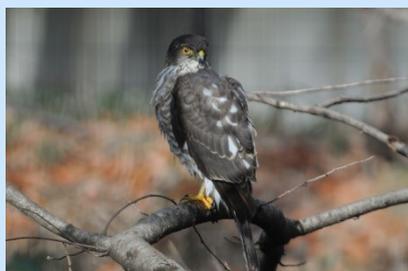
玉川上水:境橋から上流を臨む

●定員:80名
(申込順、事前申込が必要)

●参加費:無料

●申込み:武蔵野の森を育てる会
FAX:0422-54-8892
Eメール:info.mnomori@gmail.com
(お名前、住所、電話番号を明記)

●問合せ:上記Eメール又は下記電話
090-5533-2316(同会・田中)



左:子どもたちの自然観察会
(写真提供:玉川上水の自然保護を考える会)
右:猛禽類のツミ(写真提供:成瀬翼氏)

主催:NPO法人市民まちづくり会議・むさしの、玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会、武蔵野の森を育てる会
後援:吉祥寺西コミュニティ協議会、吉祥寺東コミュニティ協議会、Greenグリーン吉祥寺、コミュニティファーム、境福祉の会、
市民が憩えるプレイス西通りをつくる会、ジモッピーネット、西部コミュニティ協議会、玉川上水ネット、西久保一丁目緑
をまもるまちづくり協議会、農業体験農園「野菜塾さかい村」、プレイス木のぬくもりプロジェクト、NPO法人プレーパー
クむさしの、三鷹駅北口地区まちづくり準備会、緑町コミュニティ協議会、武蔵境活性化委員会、武蔵境商店会連合会、
武蔵野市社会教育を考える会、NPO法人武蔵野農業ふれあい村 (50音順)

武蔵野市後援

玉川上水とは？

由来

江戸時代の初期（1653年）、江戸城等に飲料水を供給するためにつくられました。多摩川から取水し、羽村から四谷大木戸までの全長43kmが築られました。

分水網の開削

その後、玉川上水から多くの分水（用水路）が開削されて武蔵野台地の農地へも水を供給しました。分水の例として、千川上水、野火止用水などがあります。

緑の基盤

武蔵野台地には食料生産のための農地、農家を風雨などから守るための屋敷林、生活燃料（薪など）や腐葉土を確保するための雑木林があり、これらは農村生活を支える緑の基盤でした。

そして今…

都市化された武蔵野市や近隣地域では、このよ

うな水と緑が自然や景観の資源として市民生活にやすらぎを提供しています。これらを適切に保全していくことが求められています。東京都は1999年に歴史環境保全地域として、国は2003年に史跡として指定しています。

未来遺産・日本遺産への取り組み

市民団体「玉川上水ネット」が推進する「玉川上水・分水網の保全活用プロジェクト」が日本ユネスコ協会連盟のプロジェクト未来遺産2016に登録されています（以下、玉川上水の未来遺産プロジェクト）。



玉川上水調査隊・けやき台小4年（写真提供：玉川上水の自然保護を考える会）

講師プロフィール

柴俊男氏

玉川上水の自然保護（野草の再生・保護、ホタルの復活等）、環境教育、「まちづくり、ふるさとづくり」活動を推進する。玉川上水ネット・前代表。

成瀬翼氏

音大と美大院卒。玉川上水を毎日散策し、自然観察会や講演会を続ける玉川上水のスペシャリスト。ゴマダラチョウが大好き！著書『ひみつのゴマちゃん』

中里 崇亮 氏

1960年代から長きにわたり玉川上水の自然を守る活動を実践。1986年には「玉川・千川上水の自然を守り清流を復活させる会」代表として清流復活を実現した。



ゴマダラチョウの幼虫
（写真提供：成瀬翼氏）



タヌキ
（写真提供：NPObirth）

主催団体の紹介

NPO法人市民まちづくり会議・むさしの

「武蔵野市都市計画マスタープラン」の策定（平成12（2000）年策定）に参加したことをきっかけに生まれた「まちづくり」NPO法人。広く一般市民を対象として、まちづくりについて市民が主体的に行動し、まちづくりへの参画やまちづくりに関する調査研究、イベント等を通じて、暮らしやすいまちを築き、豊かな社会の実現に寄与することを目的として活動しています。

玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会

東京を東西に流れる水と緑の回廊「玉川上水」を守り育てていきたいと、2014年に武蔵野市民でこの会をつくりました。2016年度から継続して武蔵野市生涯学習事業費補助金の交付を受け、学習会や見学会を企画し活動してきました。これらの活動は玉川上水の未来遺産プロジェクトの一端を担うものであり、当会は同ネットの構成団体としても活動しています。

武蔵野の森を育てる会

武蔵野市緑のまち推進課との協働により、武蔵野市立「境山野緑地（さかいさんやりょくち）」（9,188㎡）に豊かな生態系の雑木林を育てるための保全活動を行う緑ボランティア団体。2017年度東京都公園協会賞の優秀賞を受賞。境山野緑地は、武蔵野の雑木林を継承する林で、玉川上水の未来遺産プロジェクトの対象地になっています。

（チラシ作成2018.5）